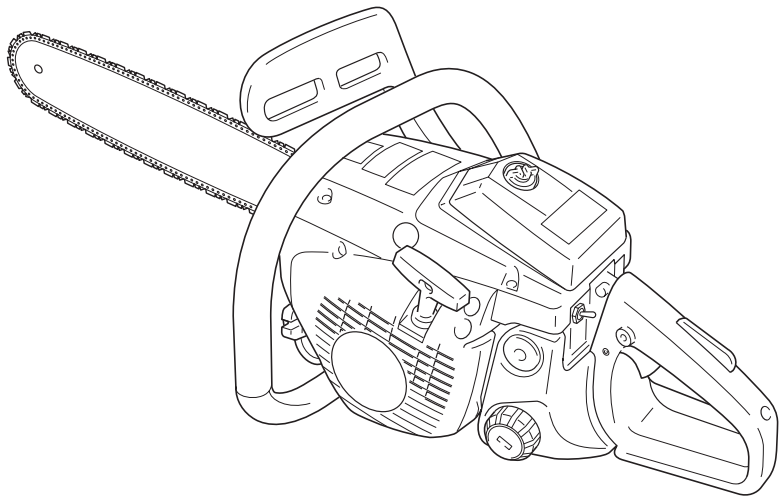
KIORITZ

共立根切機

CSVN4401

取 扱 説 明 書



（社）日本陸用内燃機関協会
小形汎用エンジン
排出ガス自主規制適合証

警 告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

重要なお知らせ

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

❍ 製品の使用目的

- **この製品は地中の木の根を切断するために作られたものです。金属、プラスチックその他地中の木の根以外のものは切断しないでください。**

❍ 製品の使用者について

- **この製品は取扱説明書をよく読んで充分に熟知した人が使用してください。**
- **取扱説明書をよく読んでいない人、風邪や疲労などで体調のよくない人、16 歳未満の人は製品を使用しないでください。**

❍ 取扱説明書について

- **本書には、製品の組立や操作、整備に必要な事項が書かれています。よく読んで理解してください。**
- **本書はいつでも読めるように必ず保管してください。**
- **本書が損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店から新しく取扱説明書を購入してください。**
- **単位は SI 単位（国際単位）を使用しています。（ ）内は参考値ですので若干の換算誤差がある場合もあります。**

❍ 製品の貸与、譲渡

- **本書で解説している製品を貸与する場合、借りて作業をする人に、この取扱説明書とともに製品を貸与してください。製品を譲渡される場合は、本書を製品に添付してお渡しください。**

❍ 保証書

- **この製品には保証書が同梱されています。**
- **使用目的以外の作業による製品の故障､あるいは改造による故障の場合は､保証の対象外になりますのでご注意ください。**
- **詳しくは保証書をお読みください。**

❍ お問い合わせ先

- **この製品についての内容や消耗品のご購入、修理などのご用命は、お買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。**

❍ おことわり

- **本書の内容は、製品の改良のため予告なしに変更することがあります。また、使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。**
- **本製品はガイドバーとソーチェーンの組立作業が必要です。**
- **ご不明なことやお気付きのことがございましたら販売店にご相談ください。**

目　次

安全にご使用いただくために 4
警告表示 4
その他の表示 4
シンボルマーク 4
警告表示ラベルの貼付け位置 5
燃料の取扱い 6
エンジンの取扱い 7
製品の取扱い 8

1. 梱包部品一覧 13

2. 各部の名称とその機能 14

3. 作業前の準備 15
3-1. ガイドバーとソーチェーンの取付け 15
3-2. ソーチェーンの適正な張り 16
3-3. 燃料の準備 17
3-4. チェーンオイルの準備 18

4. エンジンの運転 19
4-1. エンジンの始動 19
4-2. エンジンの停止 21

5. 根切作業 22
5-1. 準備 22
5-2. 基本的な操作 23

6. 点検・整備 24
6-1. 点検・整備の目安 24
6-2. ソーチェーンの目立て 25
6-3. 作業前または作業後の点検 26
6-4. 故障診断表 28
6-5. 長期保管（３０日以上） 29

7. 仕様 30

8. 補用品と消耗品 31

安全にご使用いただくために

製品をご使用になる前に、この章を必ずお読みください。

○ ここに記載されている「注意事項」は、安全に関する重要な項目です。必ず守ってください。
○ 本文の中にも重要な「注意事項」を記載していますので、必ずお読みください。

◆ 印に続く文章は、「注意事項」を守らないと起こり得る結果を示しています。

警告表示

本書や製品では作業者などが人身事故を負う危険性のある事柄を、下記の警告表示で示しています。
安全作業のためによく読んで、必ず守ってください。

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。

その他の表示

本書では警告表示以外に下記の表示を使って説明しています。

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマーク

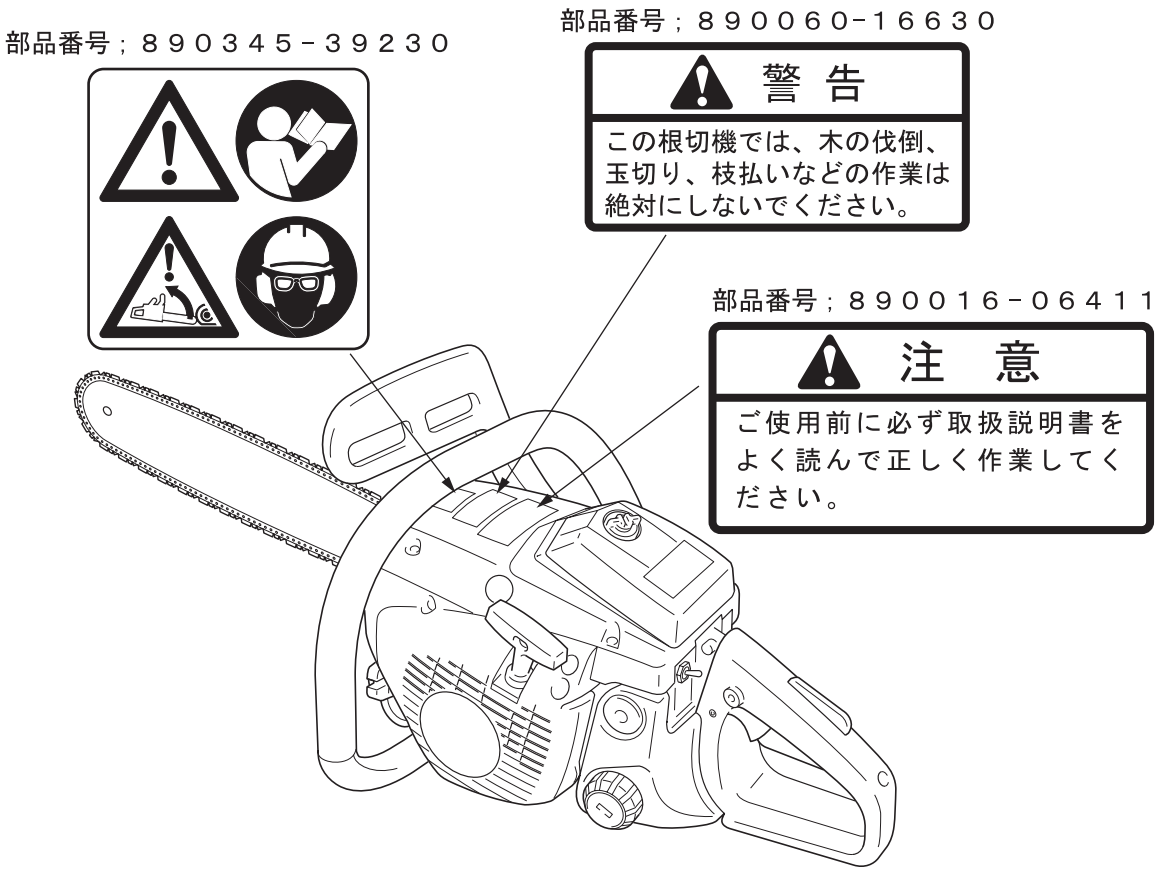
本書と製品にはシンボルマークを付けています。各シンボルマークの意味を充分に理解してください。

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		エンジン停止
	作業中は、保護具を必ず着用すること		キックバック注意
	製品を通気の悪い場所では使用しないこと		チェーンオイル吐出量の調整
	火災に注意すること		混合燃料
	電気ショックに注意すること		チェーンオイル
	高温部に注意すること	L	キャブレタの低速調整
	手の切断に注意すること	H	キャブレタの高速調整
	回転部の巻き込まれに注意すること	T	キャブレタのアイドリング調整

安全にご使用いただくために

警告表示ラベルの貼付け位置

- 本書で解説されている製品には、下図の「警告表示」のラベルが貼ってあります。
  ご使用前にラベルの意味を理解してください。
- ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店から新しくラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



安全にご使用いただくために

燃料の取扱い

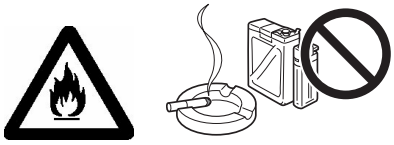
⚠ 危険

燃料補給時は火気厳禁

燃料は非常に引火しやすいので、取扱を誤ると火災の危険があります。次の項目を必ず守ってください。

- **燃料補給中にタバコを吸ったり、火花を近づけない**
- **エンジンが熱いときやエンジン運転中は、燃料を補給しない**

◆ 燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負うことになります。



⚠ 警告

静電気は火災の原因

ガソリンは容器内部で揺られると、静電気を帯びやすい性質を持っています。給油時の放電による火災を防ぐため、次の項目を守ってください。

- **運搬に用いた鋼板製のガソリン携行缶は、地面に置いて静電気を逃がす**
- **ポリミックス（別売品）で燃料を混合した後は、数分間静置して静電気のレベルを下げる**
- **作業者は、給油前に手のひらを地面や金属などに押し当てて、自分の静電気を逃がす**
- **製品は、エンジンを停止のまま充分に冷えた状態になるまで地面に置き、静電気のレベルを下げる**
- **燃料給油時に、金属製の漏斗（ろうと）を使用しない**
- **湿度の低いときは、燃料容器や製品の燃料タンクを乾いた布で拭かない**

◆ 静電気が燃料に放電して、火災の原因となります。

こぼれた燃料は火災の原因

燃料給油時は、次の項目を守ってください。

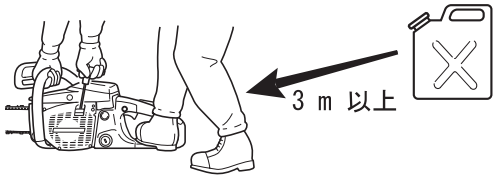
- **燃料は燃料タンクの口元まで入れない**
- **燃料を入れすぎてあふれたり、こぼれた場合はこぼれた燃料を拭き取る**
- **燃料を補給した後はタンクキャップを確実に締付ける**

◆ こぼれた燃料に引火して火災や火傷の原因となります。

燃料補給地でのエンジン始動禁止

- **燃料を補給した場所でエンジンを始動してはいけません。エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から３ｍ以上移動してください。**

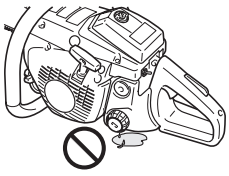
◆ 燃料補給時の漏れた燃料に引火し火災の原因となります。



燃料漏れは火災の原因

- **燃料補給後に、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れやにじみがないかを確認してください。**
- **燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**

◆ 燃料漏れがあった場合、火災の原因となります。



ポリ容器での燃料運搬・保管は禁止

燃料はできるだけ使い切ってください。燃料を運搬あるいは保管する場合は、次の項目を守ってください。

- **鋼板製のガソリン携行缶で運搬・保管**
- **保管期間は１ヶ月程度**
- **ポリ容器やペットボトルに燃料を入れて運搬・保管することは禁止**

◆ ポリ容器での運搬や保管は法律で禁止されており、火災の原因となります。

安全にご使用いただくために

エンジンの取扱い

警 告

エンジン始動時

エンジンを始動するときは、特に次の項目を守ってください。

- **ボルトやナット類にゆるみがないことを確認**
- **燃料が漏れていないか確認**
- **エンジン単体での始動禁止**
- **ハンドルのオイルや燃料をよく拭き取る**
- **製品を平坦で通気の良い場所に置く**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**
- **ソーチェーンの地面や障害物への接触禁止**
- **製品をしっかりと押え始動操作**
- **製品を持ったままでの始動禁止**

◆ ソーチェーンが地面や傷害物に触れていると、キックバックなどにより重傷を負う原因となります。



始動後は異常振動・異常音の確認

- **エンジンを始動したら、異常振動･異常音が発生していないか確認してください。**
  異常振動･異常音がある場合は製品を使用してはいけません。販売店に修理を依頼してください。

◆ 部品の脱落、飛散などの事故により、重傷を負う原因となります。

発火・発煙には、まず安全確保

- **エンジンから発火または排気口以外から発煙したら、まず身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。周囲に類焼しないようにシャベルで砂などをかけるか、または消火器で消火してください。**

◆ あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。



消火器



シャベル

排気ガスは有毒

- **エンジンの排気ガスには、有毒なガスが含まれています。**
- **屋内など通気の悪い場所で製品を運転しないでください。**

◆ 排気ガスによる中毒事故の原因となります。



点検・整備時はエンジン停止

作業後に製品の点検・整備を行なう場合は次の項目を守ってください。

- **エンジンを停止し、エンジンが冷えてから点検・整備**

◆ 火傷を負う原因となります。



- **スパークプラグキャップを外して点検・整備**

◆ 突然の始動により事故を起こすことがあります。

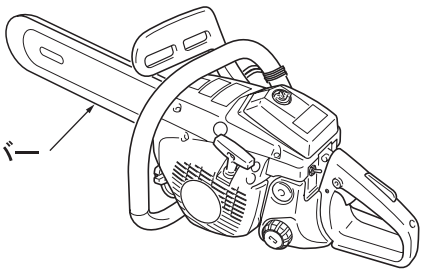


移動時はエンジン停止

次のような移動時は、エンジンを停止してチェーンカバーを装着し、ガイドバーとソーチェーンは後側にして持ち、マフラは身体から離してください。

- **作業場へ移動するとき**
- **作業中に他の場所へ移動するとき**
- **作業場から帰るとき**

◆ 火傷や重傷を負う原因となります。



チェーンカバー

安全にご使用いただくために

製品の取扱い

■一般的なご注意

警 告

取扱説明書

❍ ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。

◆ 事故や重傷を負うことになります。



製品の使用目的以外の使用禁止

❍ 製品を取扱説明書に記載されている使用目的以外の用途に使用してはいけません。

◆ 事故や重傷を負うことになります。

製品の使用者

次の項目に該当する人は製品を使用しないでください。

❍ 疲労している人
❍ 酒を飲んでいる人
❍ 薬物を服用している人
❍ 妊娠している人
❍ 体調不良の人
❍ 取扱説明書を読んでいない人
❍ １６歳未満の人



◆ 事故の原因となります。

製品の改造禁止

❍ 製品を改造してはいけません。

◆ 事故や重傷を負う原因となります。
製品の改造が原因で故障した場合は、メーカー保証の対象外となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

❍ 点検・整備をしていない製品を使用してはいけません。定期的な点検・整備を必ず行なってください。

◆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

❍ 製品を貸すときは借りる人に、取扱説明書と共に製品を貸してください。
❍ 製品を譲る場合は取扱説明書を添付して製品を渡してください。

◆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用環境・作業環境

❍ 急傾斜地や雨上がりなどの足元が不安定な場所では滑りやすく危険なので、製品を使用しないでください。
❍ 夜間や視界が悪く暗い場所などでは製品を操作しないでください。
❍ 切断作業中には他の人は近づけないでください。近くにいる人や動物などを作業領域内に入れないでください。

◆ 転倒や滑落、誤った操作や飛散物、キックバックなどにより重傷を負う原因となります。

健康管理

❍ 健康管理のために、休憩を取りながら余裕を持って作業をしてください。
❍ 厚生労働省の通達は次のとおりです。

１日の操作時間：	**２時間以内**
１回の連続操作時間：	**１０分以内**
１回の連続操作後の休止時間：	**操作時間と同じ時間程度**

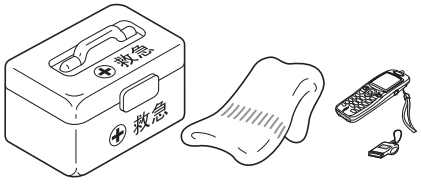
◆ 健康障害を受ける恐れがあります。

ケガへの備え

万一の事故やケガへの準備をしてください。

❍ 救急箱（応急手当用）
❍ タオルや手ぬぐい (止血用)
❍ 呼子や携帯電話（外部との連絡用）

◆ 応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



安全にご使用いただくために

■作業上のご注意

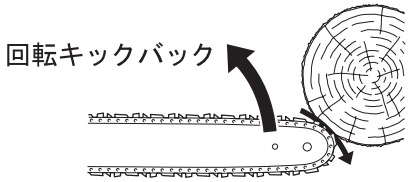
警 告

キックバックに注意

❍ 根切機の跳ね返り（キックバック）は非常に危険です。根切機の使用中にソーチェーンの先端を木材、石などに接触させたり、ソーチェーンが木の根にはさまれた場合、キックバックが発生することがあります。根切作業を行なっている場所には、他の木材や切株などの障害物がないことを確認してください。また必ず両手でハンドルを握ってください。

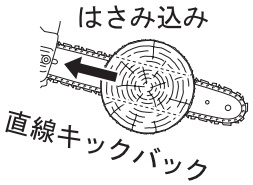
◆ ソーチェーンに接触し重傷を負うことがあります。

ー回転キックバックー
ガイドバー先端の接触が瞬間的にキックバックを引き起こし、ガイドバーが作業者の方向に跳ね返って来ます。





ー直線キックバックー
ガイドバーが木の根にはさまれてソーチェーンが動かなくなったとき、エンジンの回転を上げると急に根切機は後方に押し出されます。



安全にご使用いただくために

⚠ 警告

レイノー現象の症状に注意

❍ 指に不快感、赤み、腫れがあり、白くなったり感覚がなくなったことのある方は、製品を使用する前に医師に相談してください。

◆ 指にレイノー現象と呼ばれる症状が現われることがあります。



片手使用禁止

❍ 製品を片手で操作してはいけません。

◆ 片手で操作すると製品をコントロールできず、ソーチェーンに接触し重傷を負うことがあります。



近接作業の禁止

作業中は次の項目を守ってください。

❍ 周囲に他の作業者が作業を行なっている場合は充分な距離を保つようにしてください。

❍ 二人以上で作業する場合は、お互いに呼子などで合図のしかたを決めて作業してください。

◆ 飛散物により重傷を負う原因となります。

作業中断時はエンジン停止

作業を中断し製品を下に置く前に、エンジンを停止してください。

◆ スロットルトリガ部に木の枝などが進入しエンジン回転が上昇することがあります。

低速回転時はソーチェーン停止のこと

❍ スロットルトリガを放したときの低速回転時にはソーチェーンが回らないようキャブレタを調整しなければなりません。(27 ページ参照)

◆ ソーチェーンに接触しケガを負う原因となります。

スパークプラグの点検

スパークプラグの点検では次の項目を守ってください。

❍ 電極やターミナルの摩耗、ガイシに亀裂がある場合は新品と交換

❍ スパークプラグの火花を確認する発火テストは熟練者以外の人は禁止、販売店に依頼

❍ シリンダのプラグ孔付近での発火テストは禁止

❍ 燃料がこぼれたり、燃えやすいガスがある場所での発火テストは禁止

❍ スパークプラグの金属部に触れることは禁止

◆ 引火による火災および感電事故の原因となります。





運転中は高温部、高電圧部に接触禁止

製品の運転中および停止後しばらくの間は、次の高温部や高電圧部に触らないでください。

❍ シリンダカバー、マフラ、ガイドバー、ソーチェーンなどの高温部

◆ 高温部に触れると火傷します。



❍ スパークプラグ、プラグコードなどの高電圧部

◆ 運転中に高電圧部に触れると感電します。



燃料を入れたまま車での移動は禁止

❍ 作業中や作業後に場所を移動する場合は、必ずエンジンを停止し、チェーンカバーを装着してください。

❍ 車で運搬する場合は燃料タンクをカラにして、チェーンカバーを装着して、製品が動かないようにしっかり固定してください。

◆ 燃料を入れたまま車で移動すると、火災の原因となります。

安全にご使用いただくために

■ガイドバーとソーチェーンに関するご注意

注 意

ガイドバーとソーチェーンは純正部品

- ガイドバーとソーチェーンは当社の指定した部品を使用してください。
  （30 ページ「仕様」、31 ページ「補用品と消耗品」参照）

◆ キックバックが起きやすくなり、ケガや重大事故を起こす恐れがあります。

始動前のソーチェーンの点検

始動前にソーチェーンの張りと目立ての状況を点検してください。
（16 ページ「ソーチェーンの適正な張り」、25 ページ「ソーチェーンの目立て」参照）

◆ ソーチェーンの張りがゆるい状態で使用しますとガイドバーから外れやすくなり、ケガを負う恐れがあります。
また、強く張ると土や泥詰まりを起こし、ソーチェーンが動かなくなります。

各部の点検はエンジン停止状態で

次のような場合は、必ずエンジンを停止して、手袋を着用して作業してください。

- ソーチェーンを取付けるときやソーチェーンを回すとき
- ソーチェーンを張るとき
- 目立て作業のとき

◆ ソーチェーンに接触しケガを負う恐れがあります。



安全にご使用いただくために

■保護具

警 告

保護具の着用

作業を行なう場合は、必ず下記の保護具を着用してください。

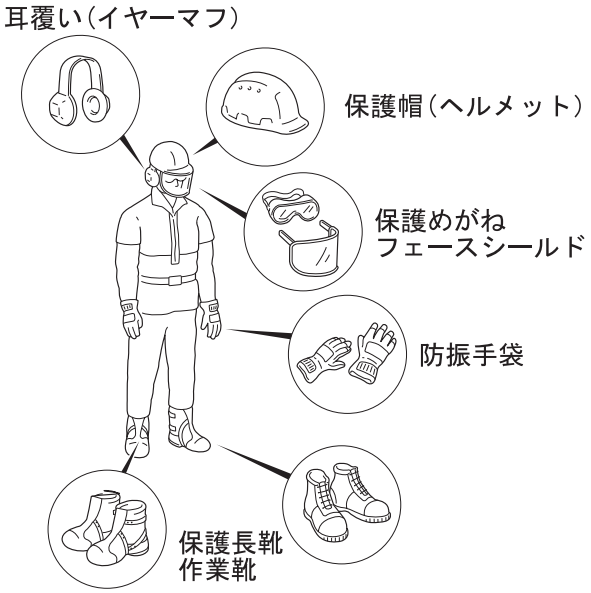
- ❍ **保護帽 (ヘルメット) ：** 頭部の保護
- ❍ **耳覆い (イヤーマフ) や耳栓 ：** 聴力の保護
- ❍ **保護めがね (ゴーグル) ：** 目の保護
- ❍ **フェースシールド ：** 顔の保護
- ❍ **防振手袋 ：** 寒さや振動から手を保護
- ❍ **身体に合った作業衣 (長袖) ：** 身体の保護
- ❍ **滑りにくい丈夫な保護長靴 (先しん入り) や滑りにくい作業靴 (先しん入り) ：** 足の保護
- ❍ **すね当て ：** 脚の保護

◆ 視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。

必要に応じて下記の保護具をご使用ください。

- ❍ **防じんマスク ：** 呼吸器の保護
- ❍ **防蜂網 ：** 蜂の襲来対策

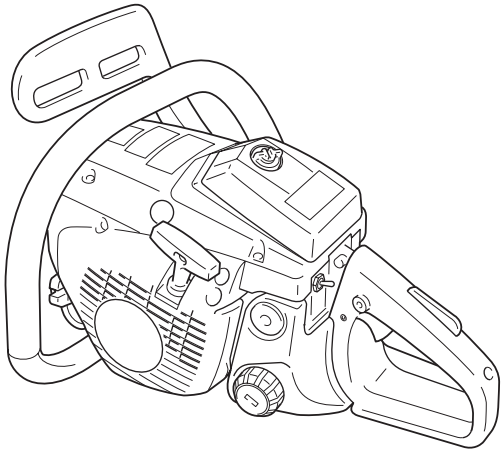




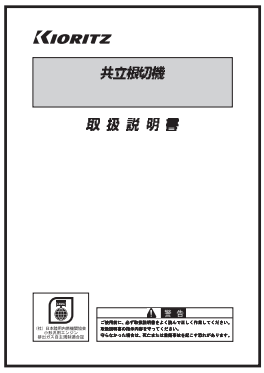
1. 梱包部品一覧

- **梱包箱の中には、下記部品が分かれて梱包されています。**
- **梱包箱を解きましたら、中の部品を確認してください。**
- **欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。**

共立根切機



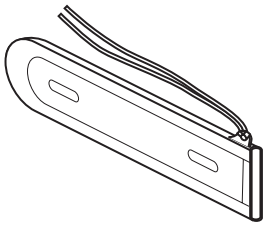
取扱説明書



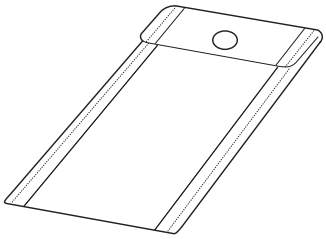
保証書



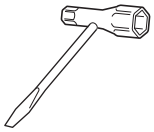
チェーンカバー



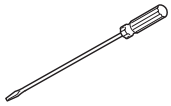
工具袋



ソケットレンチ１３×１９



調整ドライバ



六角レンチ４mm



六角レンチ３mm

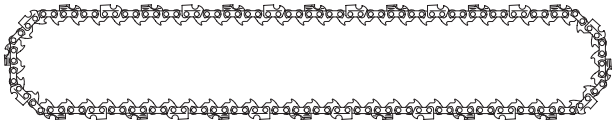


ガイドバーおよびソーチェーンは別梱包です。

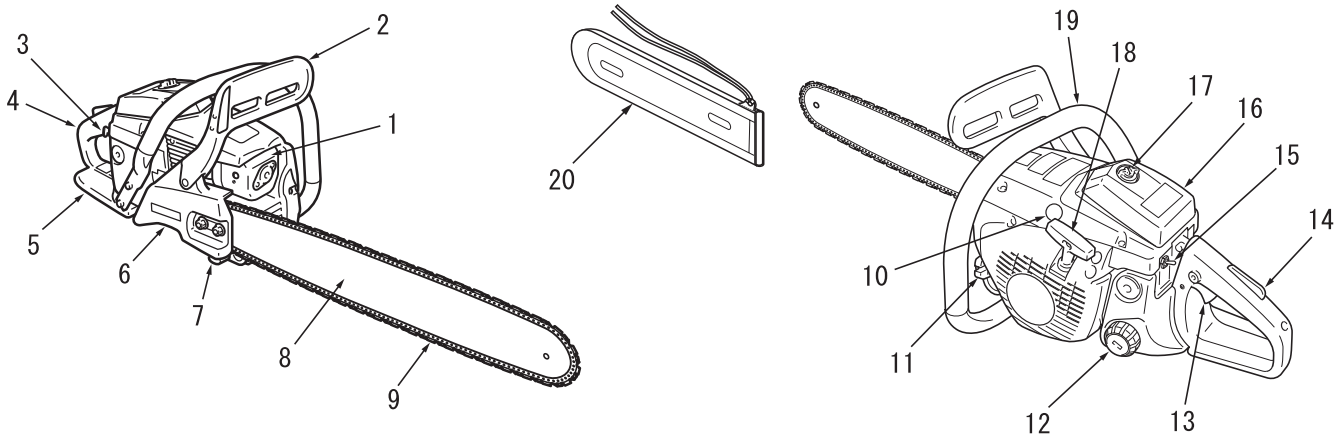
ガイドバー
４０V-６３



ソーチェーン
３６３AG-５８E



2. 各部の名称とその機能



1. マフラ（消音器） ー エンジンの排気音を小さくする装置です。高温になりますので火傷に注意してください。
2. フロントハンドガード ー 前ハンドルの前方にあり、左手を保護します。（前ハンドガード）
3. チョークノブ ー 冷えているエンジンの始動時に燃料と空気の混合比を調整します。
4. リヤハンドル ー エンジン本体の後方にある右手用ハンドルです。（後ハンドル）
5. リヤハンドガード ー 後ハンドルの下部にあり、ソーチェーンが破損またはガイドバー溝から外れた場合に、右手を保護します。（後ハンドガード）
6. スプロケットカバー ー ガイドバー、ソーチェーン、クラッチ、スプロケットなどをカバーします。
7. チェーンキャッチャ ー ソーチェーンが切れたり、ガイドバーから外れた場合、作業者を保護します。
8. ガイドバー ー ソーチェーンを支え案内します。
9. ソーチェーン ー カッタの付いたチェーンです。
10. デコンプ ー エンジン始動時にシリンダ圧力の一部を抜き、始動を容易にします。
11. オイルタンクキャップ ー オイルタンク給油口のふたです。
12. 燃料タンクキャップ ー 燃料タンク給油口のふたです。
13. スロットルトリガ ー 指で操作し、エンジン回転を調節します。
14. スロットルロックアウト ー スロットルトリガを誤って引かないように、スロットルロックアウトを押さなければスロットルトリガは引けないようになっています。
15. ストップスイッチ ー ストップスイッチを停止位置にするとエンジンが停止します。
16. エアクリーナカバー ー エアフィルタを保護しています。
17. クリーナカバーつまみ ー エアクリーナカバーを組付けるつまみです。
18. リコイルスタータ ー スタータグリップを引いてエンジンを始動します。
19. フロントハンドル ー エンジン本体の前方にある左手用ハンドルです。（前ハンドル）
20. チェーンカバー ー 輸送時およびチェンソーを使用していないときにソーチェーンとガイドバーをカバーします。

3. 作業前の準備

3-1. ガイドバーとソーチェーンの取付け

警 告

取扱説明書をよく読んで、正しく組立ててください。

◆ 誤って組立てた製品を使用すると、重傷を負う原因となります。



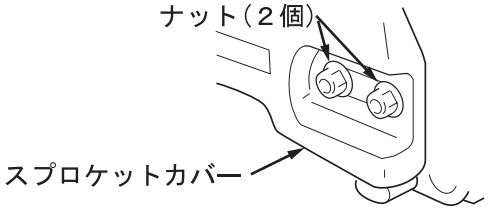
注 意

ソーチェーンを取付けるときやソーチェーンを回すときには、必ず手袋をしてください。

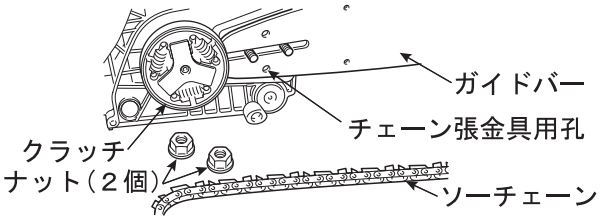
◆ ケガや火傷の恐れがあります。

重 要

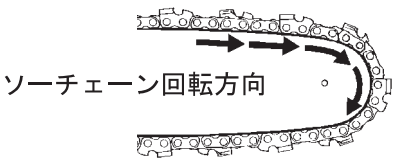
- **スプロケットカバー後端部が確実に組まれていない場合は、ナットを締付けたときソーチェーンが異常に張る恐れがあります。**
- **ソーチェーンが張れないのは、チェーン張金具がガイドバーの孔に適正にセットされていないからです。**



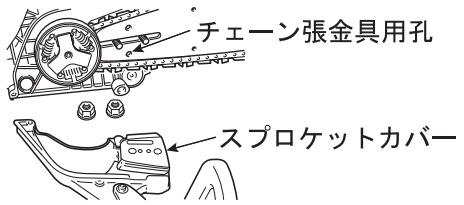
1. スプロケットカバー取付け用のナット（２個）を付属のソケットレンチを使って外し、スプロケットカバーを外します。



2. ガイドバーをソーチェーンが入りやすいようにクラッチ（スプロケット）側によせて入れます。



3. ソーチェーンはまずクラッチ（スプロケット）の方からはめ、それからガイドバーの先端に向かってはめます。



4. スプロケットカバーを取付けます。
チェーン張金具をガイドバーの孔にきちんと入れてください。入らないときはチェーン張調整ネジを右または左に回し、合わせてください。スプロケットカバーの後端部も確実に合わせてください。



5. スプロケットカバー取付け用のナット（２個）を軽く締めます。（チェーン張金具が外れずガイドバーが動く程度。）

6. ガイドバーの先端を持ち上げて、チェーン張調整ネジを矢印（右方向）の方向に回すとソーチェーンが張ってきます。

3. 作業前の準備

3-2. ソーチェーンの適正な張り

注 意

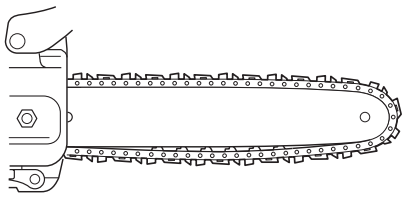
ソーチェーンを取付けるときやソーチェーンを回すときには、必ず手袋をしてください。

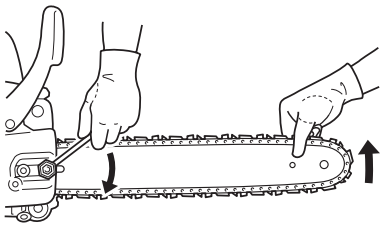
◆ ケガや火傷の恐れがあります。

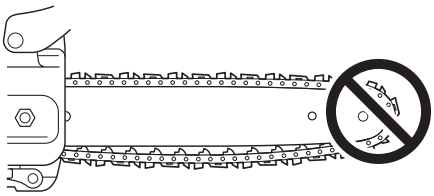
重 要

強く張ると土や泥詰まりを起こし、ソーチェーンが動かなくなります。









1. **ソーチェーンの適正な張り状態は、ガイドバーの先端を持ち上げチェーン張調整ネジを右に回し、バー下側で６～７駒分くらいドライブリンクのヒールの先（三角形状）が見える状態です。**

2. **最後にガイドバーの先端を持ち上げたまま、付属のソケットレンチを使って２個のナットをしっかり締付けます。その後ソーチェーンが手で動くことを確認します。**

3. **ソーチェーンには初期伸びがありますから、新品時は特に適正な張り状態を確認しながら作業を行なってください。**

3. 作業前の準備

3-3. 燃料の準備

危 険

燃料は非常に引火しやすいので、取扱いを誤ると火災の危険があります。本書の「安全にご使用いただくために」（6 ページ参照）記載の「注意事項」をよく読み、必ず守ってください。

◆ 燃料に引火して、火傷や火災を起こすことになります。



警 告

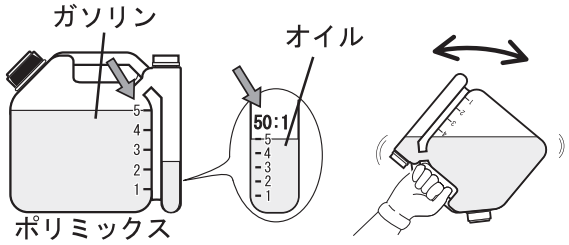
- **燃料を補給する際は手動式の燃料補給ポンプを使用し、機体が安定した状態で給油口からこぼさないように注意して補給してください。（電池式の灯油ポンプは使用しないでください）**
  製品に燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。
- **燃料を補給する際は静電気の火花放電を避けるため、補給前に製品および補給用タンクを地面に数分間置くなどして、帯電している静電気をアースしてください。**
  また、作業者自身も手のひらを地面や金属に接するなどしてアースしてください。
- **燃料を補給した後は燃料タンクキャップを確実に締付け、必ず燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**

◆ 燃料に引火して、火傷や火災を起こす原因となります。

重 要

混合燃料は劣化しやすいので、使用する分量だけ混合してください。燃料の混合は、製品の燃料タンクで行なわないで、ポリミックス（別売品）を使用して、よく混合してください。

■燃料



- **燃料はレギュラーガソリン（アルコール混入燃料はゴム製部品の劣化を早めます）と、２サイクルエンジンオイルを混合した「混合燃料」です。**
- **２サイクルエンジンオイルの種類は ＪＡＳＯ 性能分類により「ＦＡ・ＦＢ・ＦＣ」の３種類に分類し容器に表示しています。共立純正２サイクル専用オイルは「ＦＣ」で［５０：１］で使用します。**
- **混合する比率は、２サイクルエンジンオイルの種類により下記の通り使用してください。**

  共立純正２サイクル専用オイル
  ＪＡＳＯ 性能分類　ＦＣ　　；［５０：１］
  ２サイクルエンジンオイル
  ＪＡＳＯ 性能分類　ＦＢ、ＦＡ　；［２５：１］

２サイクルエンジンオイルの種類と混合比

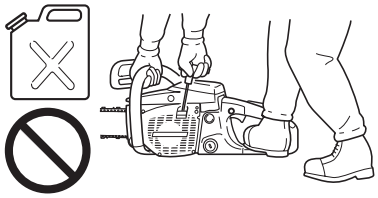
ガソリン (L)	２サイクルエンジンオイル（mL）	
	５０：１	２５：１
２	４０	８０
４	８０	１６０
５	１００	２００

3. 作業前の準備

■燃料補給

- **燃料の補給作業は、必ず風通しの良い所で行なってください。**
- **燃料の補給作業は、製品と補給用タンクを地面に置いて行なってください。トラックの荷台の上などでは行なわないでください。**

- **燃料を補給する際、燃料タンク口元まで給油しないでください。**
- **燃料タンクには、外気との間に圧力差が生じています。燃料を補給するときは、燃料タンクキャップをすこしゆるめて、圧力差を取除いてください。**
- **燃料タンクのキャップを開け、手動式の燃料補給ポンプなどでこぼさないように混合燃料を入れてください。（電池式の灯油ポンプは使用しないでください）**
- **燃料が少しでもこぼれたら、必ず拭き取ってください。ただし湿度が低いときは、乾いた布で拭くと静電気を帯びやすいので、水を湿らせた布で拭き取るようにしてください。**



燃料補給地でエンジンを始動しないこと

- **エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から３ｍ以上移動してください。**

- **補給用タンクは火気のない日陰に置いてください。**

3-4. チェーンオイルの準備

重 要
廃油、再生油は故障の原因になりますから使用しないでください。



共立純正チェーンオイル

- **運転中、ソーチェーンにオイルを与えるのは、ソーチェーンとガイドバーとの摩擦を少なくし、摩耗を防ぐためと、ソーチェーンへの樹脂の付着を防ぐためです。**

- **チェーンオイルには共立純正チェーンオイルを使用してください。**

- **燃料を補給するときは、同時にチェーンオイルもオイルタンクに補給してください。**

4. エンジンの運転

4-1. エンジンの始動

警 告

❍ エンジンを始動する場合は、4 ページ以降「安全にご使用いただくために」記載の「注意事項」を守って正しく操作してください。

❍ チョークノブを引いた後にノブを押し戻しても、スロットルは少し開いた状態（ラッチ状態）のままです。このラッチ状態でエンジンを始動するとチェーンが回り始めますので、エンジン始動後はすぐにスロットルロックアウトを押してからスロットルトリガを少し引いて、ラッチを解除してください。
ソーチェーンに身体や他のものが触れてケガしないよう充分注意して始動してください。
切断作業中は、絶対にこのラッチ状態で根切機を操作しないでください。

◆「注意事項」を守らないと、死亡または重傷を負う原因となります。

注 意

❍ ハンドルは清潔な乾燥状態に保ってください。
オイルや燃料が付着している場合はよく拭き取ってください。

◆ 手が滑りケガをする恐れがあります。

❍ エンジンの始動時、スロットルトリガを低速の位置にしておいても、ソーチェーンが動く場合にはキャブレタを調整して使用してください。（27 ページ参照）

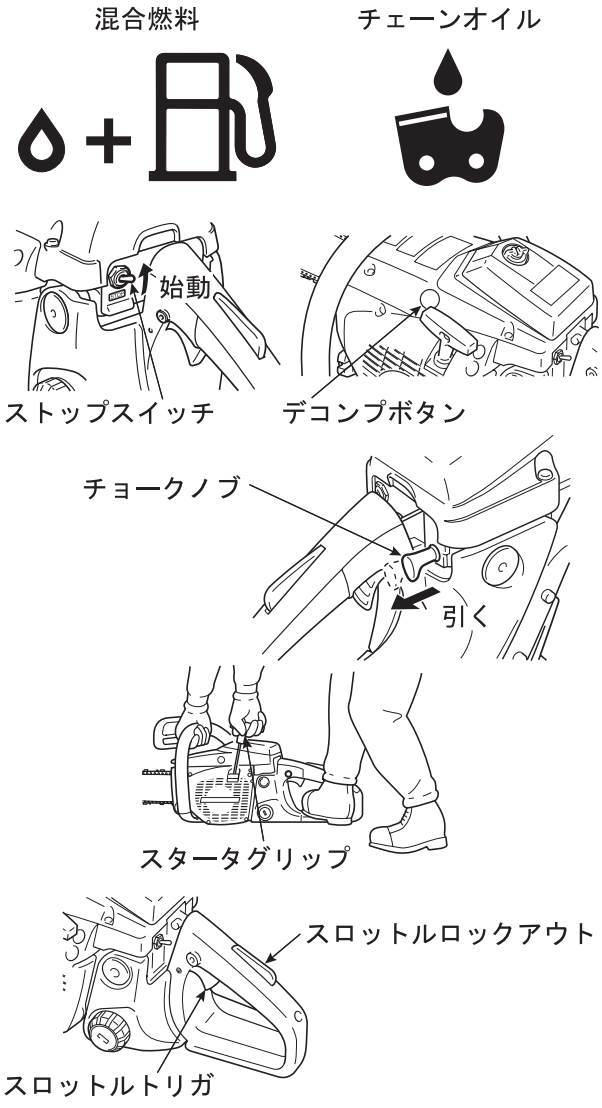
◆ ソーチェーンに接触しケガをする恐れがあります。

重 要

- **スタータグリップを引くときは、まず軽く引出し更に素早く引いてください。引きヒモの２／３以上は引出さないでください。**
- **スタータグリップを戻すときは、途中で手から離さないでください。**
- **エンジン始動操作のときに 最初の爆発音が聞こえたら、チョークノブを戻して再度スタータグリップを引くと始動します。最初の爆発音を聞き逃さないようにしてください。**

4. エンジンの運転

■冷えたエンジンの始動



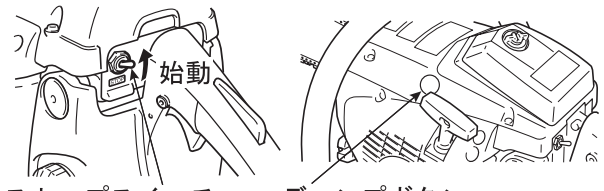
（長期保管の後はエアクリーナカバーを外し、スパークプラグキャップを接続してエアクリーナカバーを取付けてください。）

エンジンの始動には、冷えたエンジンの場合と暖まっているエンジンの場合があります。冷えたエンジンの始動は次のようにしてください。

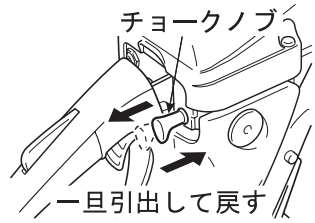
1. **混合燃料、チェーンオイルをそれぞれのタンクに入れてください。**
2. **エンジンを始動させるとき、ソーチェーンが近くにある小枝やその他のものに触れていないことを確認してください。**
3. **燃料が漏れていないことを確認します。**
4. **ストップスイッチを始動位置にし、デコンプボタンを押してください。**
5. **チョークノブを手前に引いてください。**
6. **根切機を左図のように押え、スタータグリップを最初の爆発音がするまで数回引いてください。**
7. **爆発音がしたらすぐにチョークノブを元に戻し、再度デコンプボタンを押してからスタータグリップを引くとエンジンは始動します。**
8. **エンジンの始動後は、すぐにスロットルロックアウトを押してから、スロットルトリガを少しだけ引いてラッチを解除してください。**
9. **チョークノブを戻さないままスタータグリップを引き続けると、燃料を吸い込みすぎてエンジンが始動しにくくなります。**

4. エンジンの運転

■暖まっているエンジンの始動



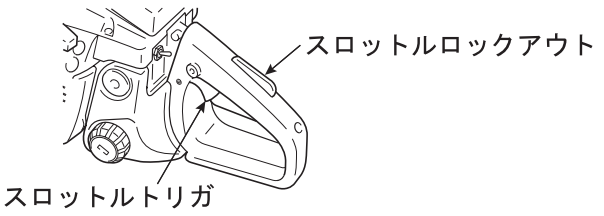




1. それぞれのタンクの残量を確認してください。
2. エンジンを始動させるとき、ソーチェーンが近くにある小枝やその他のものに触れていないことを確認してください。
3. 燃料が漏れていないことを確認します。
4. ストップスイッチを始動位置にし、デコンプボタンを押してください。
5. チョークを使用せずスタータグリップを引いてください。

＊ エンジンが始動しにくい場合は、チョークノブを一旦引出し、また元に戻してください。スロットルが少し開いた状態（ラッチ状態）になります。エンジンの始動後は、すぐにスロットルロックアウトを押してから、スロットルトリガを少しだけ引いてラッチを解除してください。
もしエンジンが始動しない場合は冷えたエンジンの始動の手順で始動操作を行なってください。

■エンジンの暖機運転



1. エンジンが始動しましたら、数分間低速運転をしてください。
2. スロットルロックアウトを押してからスロットルトリガを徐々に引き、エンジンの回転を上げてください。
3. エンジン回転数が、約 3,900 r/min に達するとクラッチインし、ソーチェーンが回り始めます。
4. ソーチェーンとガイドバーの給油状況を確認してください。
5. スロットルトリガを戻すと、ソーチェーンの回転が停止します。

4-2. エンジンの停止



1. スロットルトリガを戻し、ストップスイッチを停止（ＳＴＯＰ）位置にします。
2. エンジンが停止しないときは、チョークノブを引いてください。エンジンは失速し停止します。（チョークストップ）

＊ ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合は、製品を再び使用する前に、お買い求めの販売店にストップスイッチの点検と修理を依頼してください。

5. 根切作業

5-1. 準備

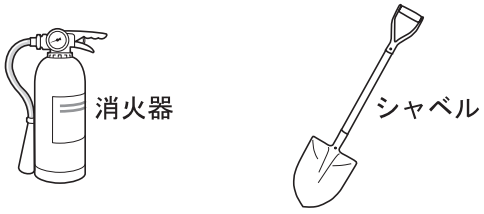
■服装の点検



12 ページの保護具のほかに、服装は次の点にも注意してください。身体を冷やさないようにしてください。特に頭部、首、脚、足首、手および手首は温かくしてください。

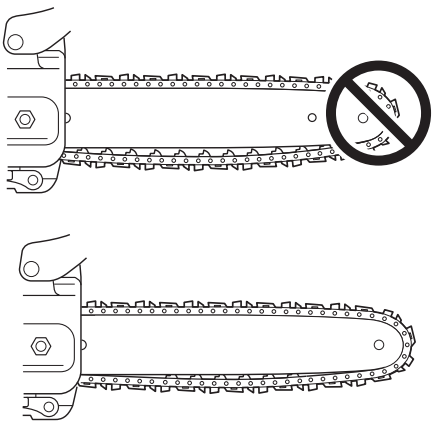
1. 丈夫で耐久性のある材質の作業衣を着用してください。引っ掛かりを防げる程度にぴったりし、自由な運動が可能な程度に余裕がなければなりません。ボタン、ファスナを完全にし、作業衣のすそはズボンに入れてください。
2. ズボンのすそは広がっていたり折り返してあったりしてはならず、作業靴の上部にはさみ込むようにしてください。
3. フリルや飾りヒモは製品やヤブに絡まる原因になります。ネクタイ、だぶついた服、宝石類は着用しないでください。
4. 髪の毛は肩より上でまとめてください。
5. 柔らかい革の防振手袋は握りをより確実なものにできます。

■消火器具の準備



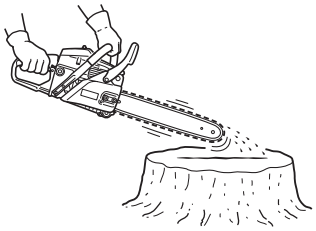
火災に備えて消火器かシャベルを用意してください。

■チェーン張りの点検



1. ソーチェーンの張りがゆるい状態で使用しますとガイドバーから外れやすくなります。ソーチェーンの張りは作業中にも点検し、必要ならば再調整します。(16 ページ参照)
2. 適正なソーチェーンの張り状態は、ガイドバーの先端を持ち上げたとき、バー下側で６～７駒分くらいドライブリンクのヒールの先（三角形状）が見える状態です。ソーチェーンの張りの調整は、エンジンを停止しソーチェーンとガイドバーの温度が低下してから行なってください。

■チェーンオイルの確認



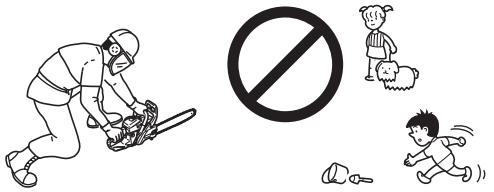
切株などの乾燥した面の上に、木に触れないように根切機を支え、数秒間エンジンの回転を上げ（中速）、乾燥した面上にオイルの細い線が見えなければなりません。

5. 根切作業

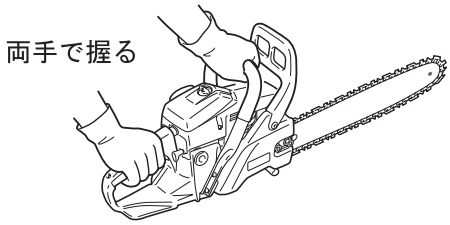
5-2. 基本的な操作

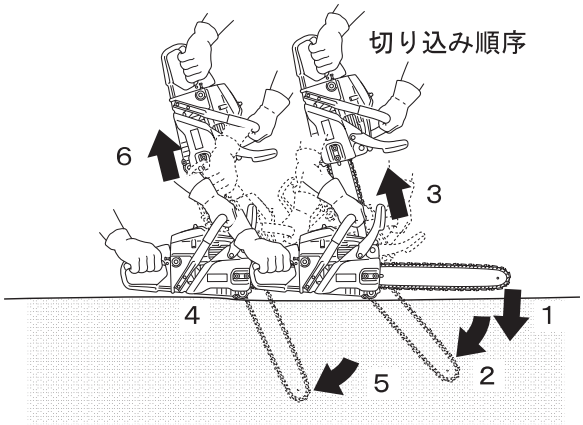
重 要

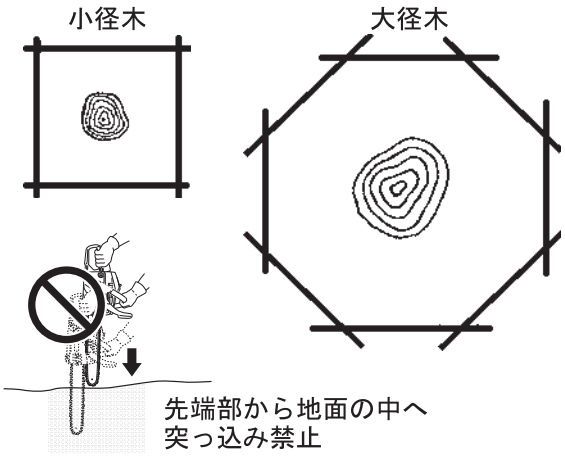
- **ガイドバー先端部から地面の中に突っ込む方式で使用しないでください。**
- **ガイドバーが地面の中にある間はスロットルトリガを一杯に握りゆるめないでください。**
- **ソーチェーンが止まることのないように前ハンドルの押えつけを加減してください**
- **ガイドバーを抜き上げるときもスロットルトリガをゆるめずに、素早く抜き上げてください。**
- **無理な押えつけは、刃の損傷など様々な故障の原因となりますので、しないでください。**



他の人や動物を作業領域内に入れない







他の人や動物は作業領域内に入れないでください。
根切機の操作は一人で行なう作業ですが、一人だけのときは根切機での作業はしないでください。
助けが必要な場合に備え、呼べる程度の近い場所に誰かがいるようにしてください。
周囲に他の作業者が作業を行なっている場合は充分な距離を保つようにしてください。

根切機の持ち方は、根切機の左側に立って左手は前ハンドル、右手は後ハンドルを握ってスロットルトリガは右手の人差指で引きます。

実際の切断を行なう前に根切機の操作をよく理解してください。
根切機の操作方法は充分慣れるようにしましょう。

エンジンを始動し、正常に運転されていることを確認してください。

スロットルトリガを一杯に握り切断を開始します。

地中の根の切断は、前ハンドルで押えつけるのでなく、ソーチェーンの回転に任せて行なってください。

1. **根切機本体を地面に置いた状態で、リコイルスタータ側に平行に立ちます。**
2. **そのまましゃがみこみ、左手で前ハンドルを、右手で後ハンドルを持ちます。**
3. **地面の中への切り込みは、アイドリング状態でもガイドバーの上側手前からチェーンオイルが流れて来るようになってから行ないます。**
4. **左手で軽く押え右手で本体を持ち上げるようにして地面の中へ切り込みます。この方法が一番楽な姿勢で、後方へ飛ぶ掻き上げられた土砂も身体にかかりません。**
5. **地面の中への切り込み順序は、左上図の１～６の順番で行なってください。**
6. **木の根回しは大きさに合わせて、左図のように行なってください。**

6. 点検・整備

6-1. 点検・整備の目安

お買い求め頂いた製品を調子よく安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備を行なってください。

点　検　項　目	作業前または作業後	必要に応じ	参照ページ
スタータの作動点検	○	●	-
エアフィルタの清掃／交換	○	●	26
燃料フィルタの点検／清掃／交換		○●	26
オイルフィルタの点検／清掃／交換		○●	26
燃料パイプ、燃料系グロメットの点検	○	●	26
燃料タンクキャップガスケットの点検	○	●	26
燃料の残量、劣化の点検	○		-
燃料タンクの清掃		○	26
オイルタンクの清掃		○	26
キャブレタの調整		○●	27
スパークプラグの点検／調整／清掃／交換		○	26
シリンダフィンの点検／清掃		○	27
マフラの点検／増し締め／清掃		○●	-
クラッチの点検		○●	27
エンジンの異常振動点検	○		-
ガイドバーの点検／交換		○	27
スプロケットの点検		○●	27
ソーチェーンの点検／目立て／交換	○		25
スクリュ、ボルト、ナットの点検／増し締め／交換	○	●	-

○：お客様が点検してください。

●：製品の性能維持のために必要に応じ販売店に定期的な交換を依頼してください。

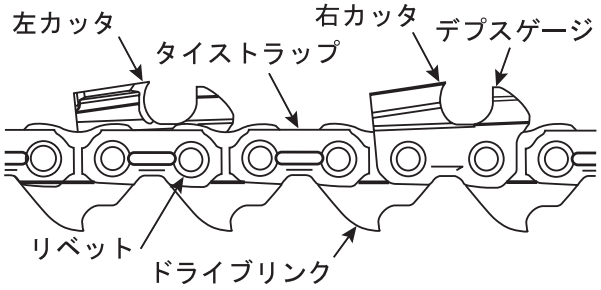
6. 点検・整備

6-2. ソーチェーンの目立て

重 要

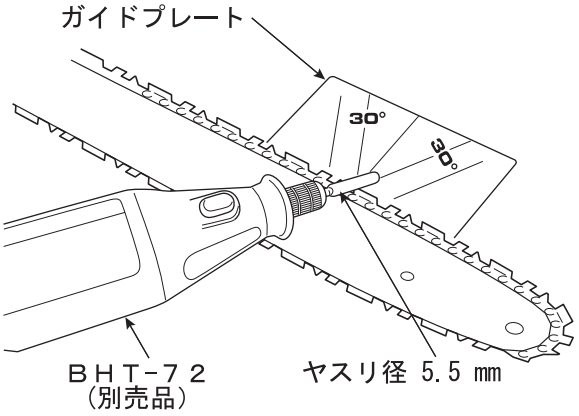
- **この製品に付属するソーチェーンタイプは、３６３ ＡＧ です。**
- **目立てには別売品のバッテリー式シャープナー（ＢＨＴ - ７２）をご使用ください。**

■ソーチェーン各部の名称



- **デプスゲージ ： カッタの切り込み深さを決めます。**
- **右カッタ ： 木材を切削するカッタです。**
- **タイストラップ ： カッタとドライブリンクを結合します。**
- **左カッタ ： 木材を切削するカッタです。**
- **リベット ： 各部分のつなぎの役目をします。**
- **ドライブリンク ： スプロケットとかみ合い、動力伝達を受けると共に、ガイドバーの溝にはまりソーチェーン全体のガイドとなります。**

■目立て



本機を作業効率最高の状態でご使用頂くために、随時ソーチェーンの目立てを行なってください。

シャープナーに付属のガイドプレート表面の線に合わせ、位置を固定してから回転しているヤスリで上方へすり上げるようにして研磨します。

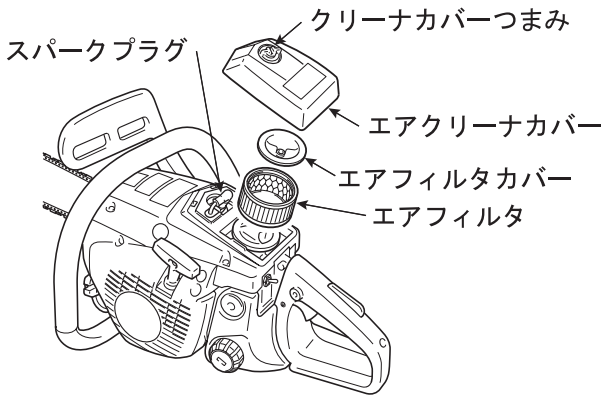
一、二度くり返し、指先で刃の上側をなぞったときにバリを感ずるようであれば目立ては完了です。

ソーチェーンの寿命は土質と木の大きさによって大きく異なりますが、一般的には１０〜１５時間位です。

6. 点検・整備

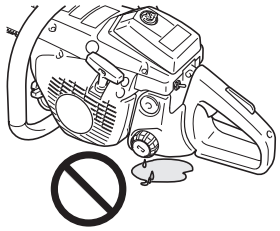
6-3. 作業前または作業後の点検

■エアフィルタの点検



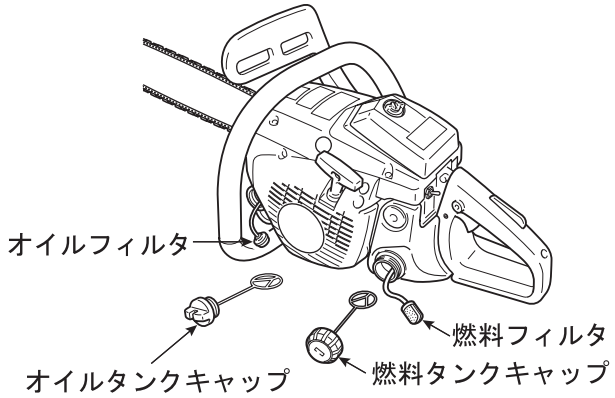
1. チョークノブを引いてから、クリーナカバーつまみをゆるめてエアクリーナカバーを取外します。
2. エアフィルタカバーをゆるめ、エアフィルタを取外します。
3. 軽くホコリを払うか、汚れがひどいときは、歯ブラシなどでゴミを落とし、またエアフィルタが破損している場合は交換してください。
4. エアフィルタを元の位置に取付けてください。
5. カバーを取付け、クリーナカバーつまみを締めてください。

■燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップガスケットの点検



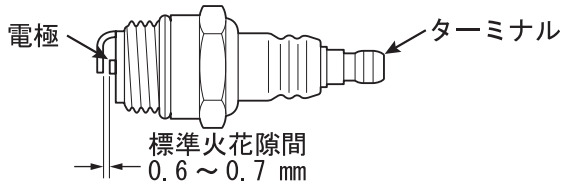
1. ご使用前に燃料を補給した後、燃料タンクキャップを確実に締め、燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。
2. 燃料の漏れ、にじみがある場合は、火災の原因となりますので、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

■燃料フィルタ、オイルフィルタの点検



1. 燃料フィルタが詰まるとエンジンの始動が困難になったり、エンジン不調の原因になります。
2. オイルフィルタが詰まるとガイドバー、ソーチェーンへのオイル給油が不充分となり摩耗の原因となります。
3. タンクにはゴミを入れないでください。
4. 針金などを使って給油口からフィルタを引出し点検してください。
5. フィルタが汚れていたら交換してください。
6. タンクの内側が汚れていたら、燃料できれいにしてください。
7. 点検後は各タンクキャップを確実に締付けてください。

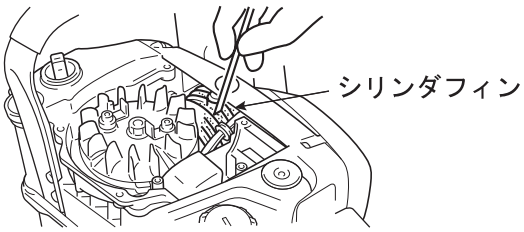
■スパークプラグの点検



1. 付属のソケットレンチ (19 ㎜) でスパークプラグを外してください。
2. スパークプラグの標準火花隙間は 0.6～0.7 ㎜です。標準火花隙間より広すぎたり狭すぎる場合は調整してください。電極の周囲にオイルや堆積物が付いているときは清掃してください。電極やターミナルが摩耗しているときは交換してください。
3. スパークプラグは、付属のソケットレンチでしっかり締付けてください。
   参考：締付けトルクは 15～17 N・m（150～170 kgf・cm）です。

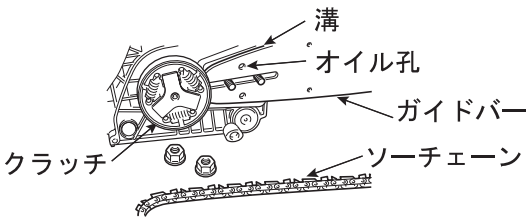
6. 点検・整備

■シリンダフィンの点検

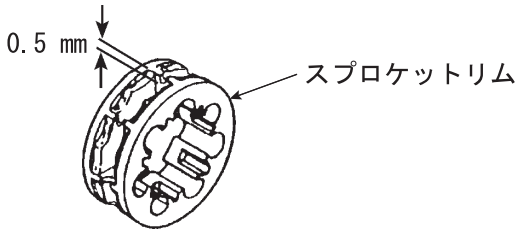


シリンダフィン部にゴミが詰まるとエンジンの冷却効果が悪くなります。シリンダフィン部の間のゴミやホコリを取除いて冷却風の通りを良くします。

■ガイドバーとスプロケットの点検



1. 小型ドライバーなどを使ってガイドバーの溝を清掃してください。バークリーナ（別売品；31 ページ参照）を使用すると簡単に掃除できます。
2. オイル孔は針金できれいにしてください。
3. ガイドバーは定期的に裏返してください。
4. ガイドバーを取付ける前には、スプロケット、クラッチを点検し、ガイドバー取付部をきれいにしてください。異常がある場合は修理を依頼してください。



5. スプロケットリムが摩耗しますと、ソーチェーンの損傷や摩耗を早めます。新しいソーチェーンに交換するときはスプロケットリムを点検し、0.5 ㎜ 以上摩耗したら交換してください。

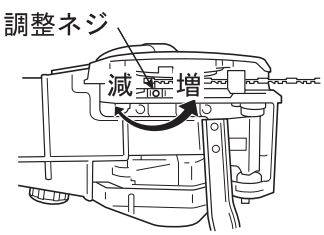
■キャブレタの点検



キャブレタの調整は必要に応じて次のように行ないます。

1. 調整ネジを軽く締まり切るまで右に回し、下記の回転だけ左に戻します。
   - 低速調整ネジ（L）：1 ～ 1 1/4 回転戻す
   - 高速調整ネジ（H）：1 ～ 1 1/4 回転戻す
2. アイドル調整ネジ（T）を、ソーチェーンが回り始めるまで右に回し、その後左に 1/2 回転戻します。

■自動オイルポンプの調整



1. 自動オイルポンプの吐出量は、工場出荷時にエンジン回転数 7,000 r/min で約 11 mL/min に調整されています。
2. 吐出量を増す場合は調整ネジを左に回してください。調整ネジがストッパーに当たって止まった位置で最大吐出量 (7,000 r/min で 13 mL/min) が得られます。
3. 調整ネジは、調整の上限と下限を越えて回さないでください。

6. 点検・整備

6-4. 故障診断表

故　障　内　容	故　障　診　断	原　　因	対　　策
エンジンが始動しない	キャブレタに燃料がない	燃料が入っていない	燃料補給
		燃料フィルタの目詰まり	清掃か交換
		燃料系統の目詰まり	販売店へ依頼
		キャブレタ不良、内部固着	販売店へ依頼
	キャブレタに燃料がある	ストップスイッチが停止位置	始動位置にする
		燃料の変質	新しい燃料と交換
		燃料の吸込みすぎ	スパークプラグの乾燥
		電気的障害	販売店へ依頼
		エンジン内部の故障	販売店へ依頼
エンジンが始動しにくい また回転が変動する	キャブレタに燃料がある	燃料の変質	新しい燃料と交換
		キャブレタ不良	販売店へ依頼
	スパークプラグが汚れて いる、または濡れている	燃料の変質	新しい燃料と交換
		電極の火花隙間が正しくない	調整か交換
		カーボンが付着している	清掃か交換
		電気的障害	販売店へ依頼
エンジンは始動するが 加速できない		エアフィルタの汚れ	清掃か交換
		燃料フィルタの汚れ	清掃か交換
		燃料通路の詰まり	販売店へ依頼
		キャブレタ調整不良	調整
		排気口、マフラ出口の詰まり	清掃か販売店へ依頼
エンジンが停止する		キャブレタ調整不良	調整
		電気的障害	販売店へ依頼
エンジンが停止しない		ストップスイッチ不良	応急停止後販売店へ
アイドリング状態で ソーチェーンが動く		キャブレタ調整不良	調整
		クラッチ破損	販売店へ依頼
切れ味の低下		ソーチェーンの摩耗	ソーチェーンの目立て
		ガイドバーの摩耗	販売店へ依頼
		クラッチの摩耗	販売店へ依頼

- 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、むやみに製品を分解しないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 表中に記載されていない故障の場合など、ご不明の点はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

6. 点検・整備

6-5. 長期保管（３０日以上）

警 告

燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のあるそばに保管しないこと。

◆ 火災の原因となります。



注 意

この取扱説明書は、いつでも読めるよう保管してください。



製品を長期間（３０日以上）にわたって保管する場合は、以下に示す保管の際の整備を必ず実施してください。

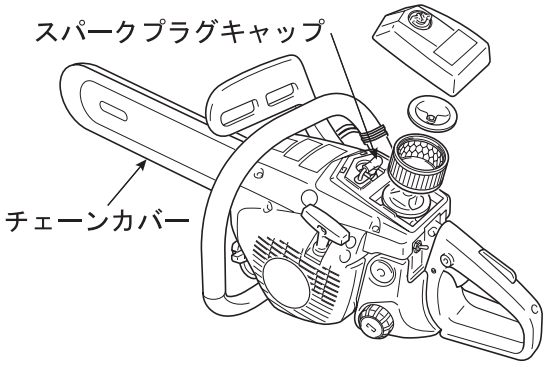
1. 燃料タンクを完全にカラにしてください。

A. 燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。

B. エンジンを始動し、自然に停止するまで運転してください。



2. ストップスイッチを停止位置にしてください。
3. 製品の外側に付いたグリース、オイル、ホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
4. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
5. スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。



6. スパークプラグを外し、その取付穴から適量（１０ｍL 程度）の、新しくきれいな２サイクルエンジンオイルをシリンダに入れてください。

A. スパークプラグの取付穴の上にきれいな布を掛けてください。

B. スタータグリップを２、３回引いて、エンジンオイルをシリンダ内に行き渡らせてください。

C. スパークプラグ取付穴からピストンの位置を確認してください。スタータグリップをゆっくり引き、ピストンが最も上のところで止まるようにしてください。

7. スパークプラグを取付けてください。（スパークプラグキャップは接続せず、はさまないようにエアクリーナカバーを取付けてください。ご使用前にスパークプラグキャップを接続してください。）
8. 製品を乾かし、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。必ずチェーンカバーを装着して保管してください。

＊ 製品や部品を廃棄するときは、販売店にご相談するか、自治体の指導に従ってください。

7. 仕様

区　分	項　目	単　位	仕　様
			CSVN4401
寸　法	長　さ	mm	３９９
	幅		３００
	高　さ		２７８
質　量		kg	４．８
エンジン	形　式	ー	空冷２サイクル単シリンダ
	排　気　量	mL	４３．６
	キャブレタ	ー	ダイヤフラム式
	マグネト	ー	フライホイールマグネト電子点火方式
	スパークプラグ	ー	ＮＧＫ　ＢＰＭ８Ｙ
	始　動　方　法	ー	リコイルスタータ（デコンプ装置付）
	動 力 伝 達 方 法	ー	自動遠心クラッチ
燃　料	混　合　比	ー	[レギュラーガソリン：２サイクルエンジンオイル] ・共立純正２サイクル専用オイル ＪＡＳＯ性能分類　ＦＣ　　;[５０：１] ・２サイクルエンジンオイル ＪＡＳＯ性能分類　ＦＢ、ＦＡ　;[２５：１]
	タンク　容　量	L	０．６０
オイル	チェーンオイル	ー	共立純正チェーンオイル
	タンク　容　量	L	０．２８
	給　油　方　式	ー	自動給油

ガイドバー			ソーチェーン			
ガイドバータイプ	長　さ cm	ゲージ mm	チェーンタイプ	ピッチ mm	ゲージ mm	リンク数
４０Ｖ-６３	４０	1.60 (0.063)	**３６３ＡＧ**	9.53 (3/8)	1.60 (0.063)	５８

その他の装置	前ハンドガード、後ハンドガード、チェーンキャッチャ、防振装置、 スロットルロックアウト、オートリターンチョーク

（寸法；ガイドバー・ソーチェーン除く）
（質量；ガイドバー・ソーチェーン・燃料・オイル除く）

＊ この仕様は予告なしに変更することがあります。

8. 補用品と消耗品

部 品 名 称	部 品 番 号	備　考
カットチェーン	４３１０１１-３５０３０	**３６３ＡＧ**-５８Ｅ
ガイドバー	Ｘ１２４-０００００１	４０Ｖ-６３
チェーンカバー	８９８５１３-３６４３１	ロープ付き （オレンジ）
エアフィルタ	１３０３１０-３８３３１	
スパークプラグ	１５９０１０-１９８３０	ＢＰＭ８Ｙ
燃料フィルタ	１３１２０５-１９８３０	
燃料タンクキャップ Ass'y	１３１００４-３７９３２	セット （オレンジ）
燃料タンクキャップ用 O リング	９００７２０-０００２２	
オイルフィルタ	４３６２０５-１４７３０	
オイルタンクキャップ Ass'y	４３６００１-３９２３２	セット （オレンジ）
オイルタンクキャップ用 O リング	９００７２１-０００２５	
工具袋	８９８５１０-１９８３２	
ソケットレンチ	８９５４１０-０２８３０	１３ mm × １９ mm
調整ドライバ	８９５８１１-００１３０	１２５ mm　マイナス
六角レンチ	８９５６１０-００１３０	４ mm
六角レンチ	８９５６１２-０３４３０	３ mm
バークリーナ	１３６１６	
ポリミックス	Ｂ２０２-０００１５００	５Ｌ 燃料混合用
ポリミックス	Ｂ２０２-０００００２００	２Ｌ 燃料混合用
５０：１ 2サイクル専用オイル	Ｂ１０５-０１０１００３	１Ｌ
５０：１ 2サイクル専用オイル	Ｂ１０５-０１００４０３	０．４Ｌ
チェーンオイル	Ｂ１００-０４３０００３	４Ｌ

- ご購入の際は製品をお買い求めの販売店にご用命ください。
- 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

索 引

あ
アイドリング 4, 23, 28
アイドル調整ネジ 27
え
エアクリーナカバー 14, 20, 26, 29
エアフィルタ 14, 24, 26, 28, 31
エアフィルタカバー 26
お
オイルタンク 14, 18, 24
オイルタンクキャップ 14, 31
オイルフィルタ 24, 26, 31
オイルポンプ 27
か
回転キックバック 9
ガイドプレート 25
き
キックバック 4, 7, 8, 9, 11
キャブレタ 4, 10, 19, 24, 27, 28, 30
く
クラッチ 14, 15, 24, 27, 28, 30
クラッチイン 21
クリーナカバーつまみ 14, 26
こ
高温部 4, 10
高速調整ネジ 27
高電圧部 10
混合燃料 4, 17, 18, 20
し
シャープナー 25
ＪＡＳＯ性能分類 17, 30
仕様 11, 30
消耗品 11, 28, 31
シリンダフィン 24, 27
す
スタータグリップ 14, 19, 20, 21, 29
ストップスイッチ 14, 20, 21, 28, 29
すね当て 12
スパークプラグ 10, 24, 26, 28, 29, 30, 31
スパークプラグキャップ 7, 20, 29
スプロケット 14, 15, 24, 25, 27
スプロケットカバー 14, 15
スロットル 19, 21
スロットルトリガ .. 10, 14, 19, 20, 21, 23
スロットルロックアウト 14, 19, 20, 21, 30
せ
静電気 6, 17, 18
そ
ソケットレンチ 15, 16, 26, 31
た
ターミナル 10, 26
ち
チェーンカバー 7, 10, 14, 29, 31
チェーンキャッチャ 14, 30
チェーン張金具 15
チェーン張調整ネジ 15
チョークノブ 14, 19, 20, 21, 26
直線キックバック 9
て
低速調整ネジ 27
デコンプ 14, 20, 21
デプスゲージ 25
電極 10, 26, 28
点検・整備 7, 8, 24, 28
に
２サイクルエンジンオイル 17, 29, 30
ね
燃料系グロメット 6, 17, 24, 26
燃料タンク 6, 10, 14, 17, 18, 24, 29
燃料タンクキャップ . 6, 14, 17, 18, 26, 31
燃料タンクキャップガスケット 24
燃料フィルタ 24, 26, 28, 31
燃料補給 6, 28
燃料補給ポンプ 17, 18
は
バークリーナ 27, 31
排気ガス 7
発火テスト 10
ハンドガード 14, 30
ハンドル 7, 9, 14, 19, 23
ひ
火花隙間 26, 28
ふ
フェースシールド 12
ほ
防振手袋 12, 22
防じんマスク 12
防蜂網 12
保護具 4, 12, 22
保護帽 (ヘルメット) 12
保護めがね (ゴーグル) 12
補用品 11, 28, 31
ポリミックス 6, 17, 31
ま
マフラ 7, 10, 14, 24, 28
み
耳覆い (イヤーマフ) 12
ら
ラッチ 19, 20, 21
り
リコイルスタータ 14, 23, 30
れ
レイノー現象 10

メ　モ

メ　モ

メ　モ

株式会社 共立

〒198-8711 東京都青梅市末広町 1-7-2 Tel 0428-32-6181

北海道共立エコー株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　Tel 011-891-2249（代）

東北共立エコー株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　Tel 022-288-0511（代）

東部共立エコー株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　Tel 0428-32-1091（代）

中部共立エコー株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　Tel 052-502-4111（代）

西部共立エコー株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市藤田 566-159　Tel 086-296-5911（代）

九州共立エコー株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　Tel 092-573-5361（代）

エコーレンテックス株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　Tel 0428-32-6777（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750-000 94 3
X750 319-420 3　　0609n 0875 ES
(C) 2005 株式会社 共立　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。